

令和4年度
第3回加賀市健康福祉審議会高齢者分科会会議録

日 時：令和5年3月2日（木）午後1時30分～2時30分

場 所：加賀市役所別館302・303会議室

出席委員：◎橘、○山崎、浅山、石川、小川、河嶋、北出、小林、澤田、鈴木、中野、
中屋、東田、松村、松本、横倉、横谷

（敬称略・◎会長、○副会長）

次第

開 会
委員委嘱
議 題

1. 令和5年度の重点事項について
 - （1）認知症施策について 【資料1-1】
 - （2）介護人材の確保について 【資料1-2】
2. サービス給付実績等のモニタリング結果について 【資料2】
3. 地域包括支援センターについて 【資料3】
4. 介護予防事業について
 - （1）地域型はつらつ塾の公募結果について 【資料4】
5. 地域密着型サービス事業者の指定（更新）について 【資料5】
6. 第9期計画の策定について 【資料6】

閉 会

議事要旨

委員委嘱

委員の交代により新たに山崎委員に委嘱状を交付し、自己紹介をした。

議題1 令和5年度の重点事項について

- （1）認知症施策について 資料1-1
- （2）介護人材の確保について 資料1-2

質疑応答

鈴木委員 直接関係のあることではないと思うが、介護人材の確保について、いろいろと施策を継続したり、新しい取り組みをするなど、側面からの支援をしていただきたいところである。どの事業所や法人も抱えている悩みであるが、人材不足が慢性的になっている。加えて、ハローワークで求人を募集しても応

募がほとんどないということが常態化している。それではどのような場所で事業所が人材を確保しているのか、あるいは探しているのかというと、紹介会社や派遣会社というところが多くなっているのが実態である。それによる経費が莫大であることが事業所にとっての深刻な悩みとなると考える。なぜハローワークでの求人が捗らないのか、市の立場からハローワークに一度よく調査や検証を行い、善処する余地がないのか考えていただきたい。公共の職業安定所であっても、形骸化している様子が見受けられる。民間の人材を紹介する会社とハローワークとを比較して後者がなぜ劣っているかを考えなければならない。介護だけでなく他の職種の人材確保についても全く同じことが言える。規制緩和により民間の紹介会社や派遣会社が活発になるのは良いことであるのかもしれないが、事業所の今までの体質としては、人材を確保するために費用がかかるという考えはあまりないと考える。一度市からハローワークにどのような実情になっているのか、なぜそのようなになっているのかを相談していただけないか。また、機会があればそれについて報告や善処の方法を聞かせていただきたい。

事務局 ご意見として承り、ハローワークともどのような状況であるのか話をして考えていきたい。また、それにより得られた情報は施策に反映させるほか、介護サービス事業者協議会を通じて皆様と共有して、人材不足の状況を変えていきたいと考えている。

中屋委員 資料1-1の3ページ下段にバリアフリー社会推進賞の記載がある。私はかがやき予防塾の第1期生として感謝したい。
現在は何期生まで、また、合計で何人ほど受講しているか。私は1期生であり、同期生についてはだいたい分かるが、2期生以降の修了生と交流する機会がないので、どのような状況であるか把握したい。

事務局 現在第9期まで終了している。令和4年度に第10期生を募集する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止している。次年度以降も感染症の状況を確認しながら開催を考えていきたい。修了生の横のつながりも重要であると考えており、かがやき予防塾の修了生はケアパス検討会のメンバーでもあるので、検討会を通じて修了生のつながりを作っていきたい。かがやき予防塾修了生の人数は昨年度末時点で282人である。

議題2 サービス給付実績等のモニタリング結果について 資料2

質疑応答 特になし

議題3 地域包括支援センターについて 資料3

質疑応答

澤田委員 各事業所の運営推進会議に地域包括支援センターが参加していたが、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、今後運営推進会議を再開する目途はあ

るか。私はある事業所の第三者委員をしているが、3年間ほど開催がないので気にかかった。

事務局 運営推進会議については、地域密着型サービス事業所において、基本的には2か月に1回開催することとなっており、地域に開かれた事業所を作るため、地域住民の協力を得ながら開催してきた。残念ながら、新型コロナウイルス感染症の関係で、感染症により重篤化しやすい高齢者が多く利用する地域密着型サービス事業所において開催するのが難しいということで、会議は開催できないが資料を配布するなどして対応しているのが実情である。事業所ごとの判断にはなるが、最近では少しずつ再開する事業所も増えており、以前の状態に戻っていくのではないかと考えている。新型コロナウイルス感染症の2類感染症から5類感染症への変更やマスク着用の考え方など、国から示されている。これを受けて、高齢者施設ということでまだ警戒は必要であるが、以前の状態に戻れるように市としても支援していきたいと考えている。

澤田委員 事業所から市に要請するのではなく、市から事業所に対して運営推進会議の開催または中止を指示するのか。

事務局 参集による運営推進会議を開催するかは最終的に事業所の判断になる。今後国から様々な見解を示されると思うが、その状況を踏まえながら、参集による開催を市から事業所に依頼することになるのではないかと考えている

議題4 介護予防事業について

(1) 地域型元気はつらつ塾の公募結果について 資料4

質疑応答

山崎委員 湖北地区や西谷地区など、未設置の地区があるが、これらについては今後設置する計画はあるのか。またはこれらの地区は応募がないのか。

事務局 湖北地区や西谷地区、別所地区、山中温泉地区の4地区について未設置であることは市としても把握している。当初は21地区を拠点として整備計画を作成していたが、介護事業所の協力があったの運営であり、また、まだ必要ないという地区の意向もある。残り4地区についても引き続き元気はつらつ塾を周知しながら、出来る限りの体制を作っていきたい。

議題5 地域密着型サービス事業者の指定（更新）について 資料5

質疑応答 特になし

議題6 第9期計画の策定について 資料6

質疑応答

山崎委員 資料6の3ページ中高齢者分科会開催予定について、令和4年度第3回会議が2月2日となっているが、この表記であっているか。

事務局 正しくは3月2日である。

その他

質疑応答

浅山委員 令和4年5月の第2回の分科会において、河南地区に小規模機能型居宅介護事業所が令和5年4月に開設されると発表された。1月に現場を見てきたが整備も何もされていない。4月の開設に間に合うのか。

事務局 河南地区での小規模多機能型居宅介護事業所および認知症対応型共同生活介護事業所の整備については、令和5年4月開設として公募を行ったが、その後工事を進める段階になり、施工業者の人材不足や資材の高騰があり、若干設計変更を行ったため、着工が遅れた。現在は施工業者も決まり、着工している。まだ形にはなっていないが、土地の土台を整備している状況である。開設時期については、事業者から聞いているところでは、小規模多機能型居宅介護事業所が令和5年6月末頃の完成予定、認知症対応型共同生活介護事業所は令和5年7月末頃の完成予定となっている。完成後は出来るだけ早く準備を進め、開設したいと聞いている。令和5年4月開設という条件での公募であったが、社会情勢により少し遅れるということでご理解いただきたい。

浅山委員 令和4年5月の時点でどのような計画であったのか。令和5年4月に開設するにはかなりの準備が必要であると思うが、その時点で業者も決まっていなかったということか。知人に聞いたところ、人材不足が厳しく、令和5年4月の開設は無理なのではないかと言っていた。そのような事情を知っていながら開設日を決めたのか。

事務局 整備にあたって補助金を交付するという関係で、補助金は今年度の補助金として交付する形になるため、令和5年3月までの完成が前提となる。3月までに完成すれば当然に4月には開設できるということで公募した。事業者については、予め人材の確保などが可能かアンケートを実施し、可能であるという回答が複数の事業者から得られたため公募を実施した。その後実際に発注しようという段階で、建設業界の人材不足や資材の高騰を受け、設計変更などのために少し時間を要した。

浅山委員 言い訳のように聞こえるが、今後施設を作るというような場合には、よりしっかりした計画を立てていただくようお願いしたい。

閉会